

阪急電鉄京都線・千里線 連続立体交差事業

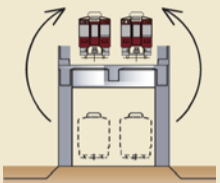
東淀川区はどのように変身中?

現在の状況をご紹介します!

第2工区

新しい線路

現在線の真上に新しい線路を作っています。



今の線路

神崎川を渡る橋を作っています。橋脚を減らすことで川の流れがよくなり、減災の効果もあります。

第8工区

仮の線路



緑風橋

新しい線路

踏切17箇所がなくなり、交通の利便性がぐっと向上しますよ!



うちの近くのあの工事、こんな風になってるんだ!

線路の作り方もいろいろあるのね!

踏切がなくなると待たなくていいから助かるなあ!

踏切がなくなると待たなくていいから助かるなあ!

現在の阪急の線路と交差するJRおおさか東線のさらに上空に、新しい線路を通す巨大な橋を作っています。

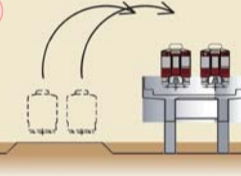
第4・5工区



第6工区

新しい線路

現在線の横に新しい線路を作っています。



今の線路

- 鉄道高架区間
- 側道整備区間
- 区間整理事業範囲
- 踏切

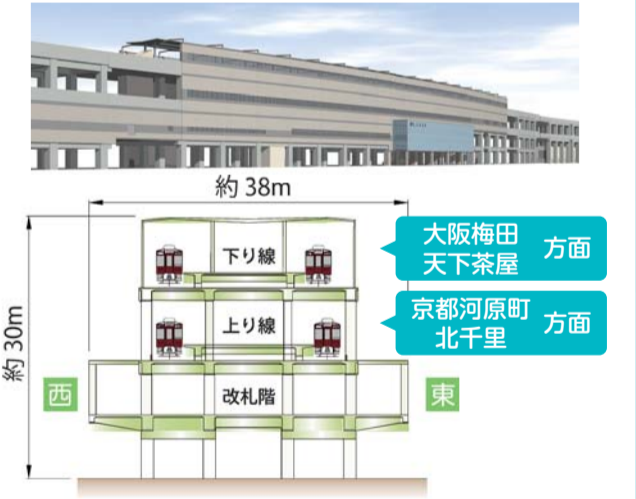
POINT

淡路駅はどう変わる!?

手前に見えるのが、現在の淡路駅。奥に見えるのが、現在工事中の新しい淡路駅です。



淡路駅の完成予定図はこちら!



建設局 道路河川部 街路課(鉄道交差担当) 企画調整 1階9番 6615-6763 4809-9927

※令和4年7月現在の情報です。



建設局道路河川部 鉄道交差担当課長 竹田 英司

平成20年に高架工事に着手以降、皆さんには通行規制や夜間工事など長期にわたってご理解、ご協力いただきまして、心よりお礼を申し上げます。現在工事は最盛期を迎え、鉄道高架橋の建設が進み、概ね5割の進捗率となっています。本事業は4階建てとなる淡路駅や、阪急電鉄の橋梁がJR東海道新幹線の上空を越えるという、全国でも類を見ない高架化工事を行っています。

本事業では、踏切の除却による交通円滑化など直接的な効果をはじめ、鉄道の高架化後、都市計画道路・歌島豊里線の整備や高架下の活用により沿線地域の活性化や地域の一体化による防災力の向上といった、経済面・環境面・にぎわいなど広く波及していくことが期待されます。

東淀川区のまちづくり構想の実現にも貢献できるよう、今後とも阪急電鉄や施工業者と一体となって、着実に事業を進めていきますので、引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

まちの未来に期待します

大正10年に開業して以降、阪急京都線・千里線は主要な交通基盤として大阪市北部の発展を支えてきました。人口も増え、交通量の増加に伴い限られた踏切がボトルネックとなっていることから、区画整理事業とあわせてまちづくりの一環として高架化事業が進められています。

まちづくりへの影響も大きく、地域の方々との協議会で将来のまちづくりに向けた意見交換も行っています。高架下の活用や新たな道路整備などにより阪急沿線のみならず東淀川区のまちの姿が大きく変わることとなります。完成まで、まだ時間はかかりますが、まちの未来に期待したいと思います。



東淀川区長 西山 忠邦